

## 毎日社会福祉顕彰に1団体2個人

社会福祉の向上に尽くした個人・団体を顕彰する2010年度、第40回毎日社会福祉顕彰(毎日新聞社会事業団主催、厚生労働省、全国社会福祉協議会後援)の贈呈式が10月18日(月)、東京都千代田区一ツ橋の毎日新聞東京本社で行われた。

今年度は全国から18件の推薦応募があり、審査の結果、団体は日本初のフードバンクを設立し、そのシステムを構築した「セカンドハーベスト・ジャパン」(チャイルズ・E・マクジルトン理事長)▽個人は、長年にわたって視覚障害者向けの活動を続けてきた社会福祉法人「桜雲会」理事長の高橋昌巳さん(79)と、幅広い福祉活動に取り組み、それらを支えた社会福祉法人みなど察理事長の宮武一郎さん(78)が、それぞれ受賞。毎日新聞社社長の朝比奈豊毎日新聞社会事業団理事長から賞牌(しょうはい)と賞金100万円が贈られた。



第40回 毎日社会福祉顕彰贈呈式

毎日社会福祉顕彰を贈られた、右から宮武さん、高橋さん、マクジルトンさん

顕彰事由は次の通り。

セカンドハーベスト・ジャパン(チャイルズ・E・マクジルトン理事長(東京都))食べられるのに廃棄される食糧は日本国内で毎年500万9000万トンとされている。フードバンクはそうした食糧を食品企業などから寄付してもらい、福祉施設や児童養護施設、女性シニエーターなどに配布する。米国では40年以上の歴史を持つが、日本では同法人のマクジルトン理事長(46)が初めてスタートさせた活動。発足当初40トンだった取扱量は、09年には560トンと10倍以上になり、提供企業は488社、受け取る施設・団体は約500団体にのぼっている。2002年3月設立。

高橋昌巳さん(社会福祉法人「桜雲会」理事長(東京都新宿区))視覚障害者向けに、あんなまやしんきゅうの点字医学書の出版などを行う社会福祉法人「桜雲会」の理事長。父豊治さんの遺志を受け継ぎ、聖マリアンナ医科大学で教員を務める傍ら、活動を続けてきた。教科書類については、点字のほか拡大文字、音声の3媒体で出版。医学書では手で触れて理解する解図を初めて作成した。98年から5年間、ベトナムで日本式あんまを指導している。盲人教育の先達らとのゆかりの地を巡るツアーを企画するなど活動にも取り組む。

宮武一郎さん(社会福祉法人「みなど察」理事長(大阪府河内長野市))貧困、体や心の障害、老いを抱えた人に支援の手を差し伸べ、活動領域は幅広い。56年に職員となり、アルコール依存症の人も多かった更生施設入所者の自立に尽力。ひさを付き合わせて話し合い、社会復帰の手助けをした。81年に法人の理事長に就任後、老人福祉施設も運営し、認知症のケアにも取り組んだ。近年はホームレスや刑務所出所後に行き場のない人の受け皿づくりに奔走している。

## 1380万余円の義援金ご協力ありがとうございました

宮崎県で発生した口蹄疫被害に対し全国の皆様から寄せられました義援金は283件1380万3149円になりました。

寄せられた義援金全額は、すでに宮崎県の共同募金「宮崎県口蹄疫被害義援金」に送金しました。宮崎県や同県共同募金会などで作る義援金配分委員会が配分を決め、被害を受けた畜産農家の支援や地域経済の復興に役立てられます。ご協力いただきました読者の皆様に厚くお礼申し上げます。

「ここにこスマイルキャンプin九州」が8月21日から1泊2日の日程で、福岡県久留米市田主丸町の「県立ふれあいの家北筑後」であり、九州・山口在住の小児がん経験者やスタッフら約50人が参加、自己紹介や名札作り、宝探し、キャンプファイアーなどを楽しんだ。

病気の悩みを相談したり、仲間との親交を深めたりするのが目的で、九州・山口での泊りがけキャンプは初。久留米大病院や福岡大病院などの小児

## 「ここにこスマイルキャンプin九州」



# 全国寄贈書画・陶工芸品即売展

例年通り北九州、山口、福岡の3会場で開催

毎日新聞西部社会事業団の歳末恒例チャリティー「全国寄贈書画・陶工芸品即売展」は、今年末も例年通り、北九州、山口、福岡の3会場で、下記の日程で開催します。

チャリティー即売展は、全国各地で活躍されている画家や陶・工芸家、書家をはじめ名刺・古利の高僧やイラストレーター、漫画家、文筆家、芸能人ら各界の著名な方々から寄贈された作品を、寄贈者の特別の計らいで市価よりも大幅に安いチャリティー価格で販売します。中には人間国宝や日本芸術院会員といった我が国を代表する芸術家や人気作家の先生方から、超一級の作品が数多く寄贈・出品されます。

入札は各会場とも昨年と同様、2日目午前11時半に締め切り、直ちに開票集計し、落札者にはその場で作品をお渡しします。なお主な出品作品などは当事業団ホームページ(http://www.mainichi.co.jp/seibu\_shakaijigyo/)で紹介しています。

また歳末展で残となった作品をさらに値引きして即売する年度末展も例年通り、北九州会場で11年3月5日(土)の1日だけ開催します。

### 【北九州会場】

日時 12月4日(土)9時半～17時、5日(日)10時～16時  
場所 北九州市小倉北区紺屋町13-1  
毎日西部会館5階大ホール及び中ホール

### 【山口会場】

日時 12月11日(土)10時～18時、12日(日)10時～16時  
場所 山口市中市町3-3  
山口井筒屋5階特設会場

### 【福岡会場】

日時 12月18日(土)9時半～17時、19日(日)10時～16時  
場所 福岡市中央区天神1-1-1  
アクロス福岡2階・交流ギャラリー

### 【年度末北九州会場】

日時 11年3月5日(土)9時半～16時  
場所 北九州市小倉北区紺屋町13-1  
毎日西部会館5階大ホール

今年度も続々と作品が贈られて来ています。その中の一部で、入札予定の作品をご紹介します。



西村光人「紅富士」(日本画)

## 福岡でアートフルコンサート 秋川雅史さんやベッキーさんらが出演

交通事故の撲滅と交通遺児の支援を目的にした「アートフル・チャリティーコンサート」(毎日新聞社主催)が10月30日、福岡市のアクロス福岡で開かれ、日本を代表するテノール歌手の秋川雅史さんをはじめ、バリトンの大島幾雄さん、ソプラノの澤畑恵美さんらがヒット曲「千の風になって」など16曲を歌って素晴らしい美声を披露、訪れた約1200人の聴衆は惜しめない拍手を送っていた。

コンサートでは、入り口ホールに西部社会事業団が募金箱を設置、交通遺児支援に向けた募金を呼び掛けたほか、コンサートの合間にも



美しい歌声で聴衆を魅了した秋川さんら

朗読を担当したタレントのベッキーさんと司会のRKB毎日アナウンサー、田中みずきさんが募金を呼び掛けた。この結果多くの方々から寄せられた募金は総額17万1061円に達した。寄せられた募金と益金の一部は、交通遺児を支援する団体に贈られる。



中古照雄「双頭のデルフト」(洋画)



片山弘明「薔薇」(洋画)